



和弘美術館

問 行財政改革を問う

答 行財政改革は
根本的に同感



福嶋 斉

問

いわゆる箱物と言われるような建設費、維持管理費のかかる事業は原則として凍結あるいは縮小、中止、廃止しなければならぬ。何事においても特定の人、一部の人の利益は駄目。木材供給センターの現状と市の負担は。

市長

兵庫木材センターは宍粟市において必要な施設であり事業体に有償貸しつけを検討中。維持管理費も事業体の負担、全体事業費は約9億8千7百万円で市の負担は1億8千7百万円余です。

問

波賀旧和弘美術館の購入について8千2百万円は高くないか、不動産鑑定士の依頼は。

市長

市のイメージアップと山村地域の活性化をはかるため将来カヌーのクラブハウスとして活用したい。8千2百万円の予算を計上し協議中、土地評価は財産評価委員会が固定資産税の基礎額等を基本として算出。

問

4町合併後の職員の削減と今後について、又理想の職員数は。

市長

合併協議会の中で職員数の削減は最大のメリット、合併時行政部門550人、平成21年4月行政部門470人で80人の削減で金額にして約7億円減です。又第2次定員適正計画を作成し人件費の削減につとめたいと考えています。

問 地域活性化への展望を訊く

答 現路線を推進強化



寄川 靖宏

問

経済不況への政策的措置。

市長

商業者に産業振興資金融資制度、プレミア付き商品券の発売をしている。地域内で消費されるしくみを構築する必要がある。

問

国道29号線及び市内の街道沿線の活性化計画。

市長

佐用・智頭經由に勢力が移りつつあるが、北部地域の振興を図る。スキー・アウトドア・カヌー・宿泊・道の駅等の各施設、また農業林業体験、歴史資源にも着目し誘客する。鳥ヶ此トンネル開通で循

環コースの設定が可能となり、今後も観光協会と連携しPRしていく。

問

「しそ森林王国」の展開。

市長

観光協会や森林王国協会と農林水産資源を生かした製品の高付加価値化やブランド化を図る。氷ノ山の登山道整備などは専門家と相談する。

問

グリーンツーリズムからのアプローチ。

市長

ふるさと工房・道の駅みなみ波賀・特産館でのイベントを展開する。フォレストステーション波賀周辺の市有林で林業体験の場を東芝に提供したり、宍粟の森見学ツアー、宍粟材展示販売施設の設置にも取り組んでいる。放棄田や空き家を活用したり、林業では防災面にも配慮したい。



プレミア付商品券販売初日
(山崎文化会館)